

ランチョンセミナー 27

演
題

疥癬の 診断と治療

「5%フェノトリンローション
による治療経験を含めて」

座長

国立療養所多磨全生園 園長

石井 則久 先生

演者

吉住皮膚科クリニック 院長／

東京女子医科大学東医療センター皮膚科 非常勤講師

吉住 順子 先生

●整理券について

当ランチョンセミナーは整理券制です。

整理券は、セミナー開催日の朝にランチョンセミナー整理券配布所にて
自動発券機を使用して配布、もしくはアプリにて発行します。

【整理券配布場所】

リーガロイヤルホテル広島 3Fホワイエ

【整理券配布時間】

6月3日(日) 7:45～11:30(アプリ8:45～11:30)

※整理券は、セミナー開始後5分で失効いたします。

日
時

2018年6月3日 日
12:00～13:00

会
場

リーガロイヤルホテル広島
第4会場(4F ロイヤルホール1)

〒730-0011 広島市中区基町6-78 TEL:082-502-1121

演題

疥癬の診断と治療

5%フェノトリンローションによる
治療経験を含めて

演
者

吉住皮膚科クリニック 院長／
東京女子医科大学東医療センター
皮膚科 非常勤講師

吉住 順子 先生

ご略歴

1982年 鳥取大学医学部卒業
順天堂大学医学部麻酔学教室入局
1992年 東京女子医科大学東医療センター皮膚科入局
吉住皮膚科クリニック勤務
2008年 吉住皮膚科クリニック、院長
2015年 東京女子医科大学東医療センター皮膚科 非常勤講師

疥癬はヒゼンダニが角層に寄生しておこる強い
痒みを伴う伝染性皮膚疾患である。ヒゼンダニの
駆虫は内服薬イベルメクチンに加え、2014年からは
外用剤5%フェノトリンローション(PL)を処方できる
ようになり非常に効率がよくなった。PLは成人では
頸部以下全身に1週間隔で2回外用する。1本30gを
1回の外用で使い切る。外用12時間以降シャワー
などで洗浄する。その後ワセリンなどを全身に外用
しておくとい。治療時、1週間隔2回の外用で成人
の通常疥癬95名中88名が治癒(有効率92.6%)、
重篤な副作用はなかった。その後小児、妊婦、
授乳婦の症例にも安全かつ有効であったとの報告
がある。小児、寝たきり高齢者、ステロイド外用を
行っていた通常疥癬、および角化型疥癬などでは
3回以上の外用やイベルメクチン内服の併用が
必要な場合がある。疥癬は、ヒゼンダニの駆虫開始後
一時的に皮疹が増悪するなど、皮疹の重症度が
駆虫の効率を反映しない場合がある。